

史跡広島城跡保存活用会議について

1 経 緯

本市では、広島城の歴史・文化の発信拠点及び観光拠点としての魅力の向上を図るため、外観復元から60年以上が経過し老朽化が進む天守の今後の方向性や、現天守閣の展示・収蔵機能の移転の必要性などを含む、広島城全体のあり方について検討を進めており、令和2年5月には、広島城の今後の取組の基本的な指針として「広島城基本構想」を策定した。

史跡広島城跡保存管理計画策定から既に30年以上が経過する中、社会情勢の変化や基本構想の内容等を踏まえ、現状に即した計画に見直す必要が生じていることから、史跡としての保存・活用のあり方を取りまとめたマスタープランとして「史跡広島城跡保存活用計画」を策定するとともに、天守の木造復元に当たっての課題を整理、検討することとした。

2 会議の開催

保存活用計画の策定、同計画策定後の史跡広島城跡整備基本計画の改訂及び天守の木造復元を目指す上での課題と対応（天守を支える石垣の保存のあり方や天守台周辺の埋蔵文化財の発掘調査等）の整理に当たっては、史跡の保存活用に関する多岐にわたる専門的かつ難易度の高い課題を調査・検討していく必要がある。このため、建造物、記念物（日本史（近世以降）、城郭、石垣、史跡（史跡整備））、埋蔵文化財、公園整備、植物学、観光の各分野の学識経験者で構成される「史跡広島城跡保存活用会議」（以下「保存活用会議」という。）を開催し、そこでの意見を踏まえ取りまとめを行う。

（部会の設置について）

保存活用会議においては、より専門的な観点から検討を深める必要がある項目について、順次部会を設置し、必要に応じて有識者を追加した上で意見聴取する。

3 保存活用計画策定スケジュール（予定）

（令和4年2月21日）	保存活用会議第1回会合（座長選任、事業概要・スケジュール等の説明）
（令和4年3月30日）	保存活用会議第2回会合（保存活用計画素案審議（現行計画の評価、史跡の現状と課題ほか））
（令和4年7月下旬）	保存活用会議第3回会合（前回会議の修正案審議、保存活用計画素案審議（保存・活用の基本方針ほか））
（令和4年11月上旬）	保存活用会議第4回会合（前回会議の修正案審議、保存活用計画素案審議（史跡の保存・活用・整備の方法、運営体制の整備ほか））
（令和5年3月上旬）	保存活用会議第5回会合（保存活用計画全体案の審議）

4 スケジュール（予定）

区分/年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度～
文化庁協議				
会議	会議設置 会議開催（2回）	会議開催（3回程度） 石垣部会設置	天守閣部会、埋蔵文化財部会設置	
計画策定	資料収集、調査 保存活用計画案に対する意見聴取（前半部）	保存活用計画案に対する意見聴取（後半部） 取りまとめ	保存活用計画製本・配付	整備基本計画改訂（6～8年度）